

令和7年度「全国学力・学習状況調査」の結果 —分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

区 名 浪速区

学 校 名 大国小学校

学校長名 前木場 亜希子

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和7年4月17日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数・理科）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数
- ・理科

(2) 質問調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・大国小学校では、第6学年25名

令和7年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

今年度の国語の平均正答率は、全国平均よりも5.8%低かった。領域別では、全国平均よりも「話すこと・聞くこと」が8%、「書くこと」が14.5%、「読むこと」が1.2%低かった。

算数の平均正答率は、全国平均よりも7.0%低かった。領域別では、全国平均よりも「数と計算」が8.8%、「図形」が4.8%、「測定」が10.4%、「変化と関係」が11.2%、「データの活用」が7.0%低かった。

理科の平均正答率は、全国平均よりも12.1%低かった。領域別では、全国平均よりも「エネルギー」が6.7%、「粒子」が11.4%、「生命」が14.5%、「地球」が16.7%低かった。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

〔国語〕

内容では「言葉の特徴」「情報の扱い方」で全国平均を上回り、評価の観点では「知識技能」、問題形式では「短答式」で全国平均に迫ることができた。国語科を研究教科とし3年目を迎えるが、「書くこと」の指導に焦点を当て研究を重ねてきた成果と言える。また、「記述式」で特に正答率が低く、目的や意図に応じて書くことや、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することに課題があることがわかった。

〔算数〕

「記述式」の問題形式で特に正答率が低く、無回答率も高かった。答えの求め方や理由を記述することが難しい傾向が見られる。今後は、目的に応じて適切な資料を選択し、数や言葉・式などを用いて説明したり、条件を満たして記述したりする力を養っていく。

〔理科〕

「記述式」の問題形式で特に無回答率が高かった。実験の結果を基に結論を用いた理由を説明したり、差異点や共通点を基に新たな問題を見いだして表現したりする力を養っていく。

質問調査より

今年度の6年生は、「人が困っているときは、進んで助けていますか」「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」において、肯定的回答が100%だった。また、「将来の夢や目標を持っていますか」8.5%、「学校に行くのは楽しいと思いますか」9.3%、「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」14.6%、全国平均を上回った。これは、本校の推進する人権教育や、学校に居場所を作り、子どもたちのよさやがんばりを認め、励まし、自己肯定感や自己有用感を高められるような取り組みを行ってきた教育活動の成果だと言える。

一方で、「毎日朝食を食べていますか」2.0%、「学校が休みの日にどれくらいの時間勉強しますか」3.5%、「毎日、同じくらいの時間に起きていますか」3.5%、全国平均を下回った。学校だよりや学校ホームページなどを活用して家庭にも啓発し、家庭学習を含めた、基本的な生活習慣の確立をめざす。

今後の取組(アクションプラン)

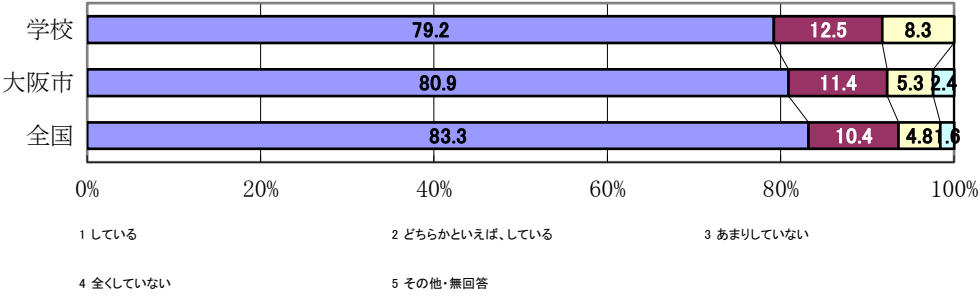
学力向上委員会を中心に、結果を分析し成果と課題をまとめる。児童に育成していかなければならない力を把握し、教職員全体で児童の実態を共有、指導内容を計画・実践していく。

また、今年度は国語科「自分の思いや考えを伝え合い、学び合う子どもを育てる～物語文の指導を通して～」を研究主題とした。学力向上支援チーム事業を活用し、校内研究授業や公開授業、研修会を計画的に実施することで教職員の指導力の向上を図っている。「教材文分析」、「書く力を高める工夫」、「伝え合い学び合う力を身につけるための工夫」の3つを視点とした研究を進め、読解力及び思考力・判断力・表現力のさらなる育成をめざす。

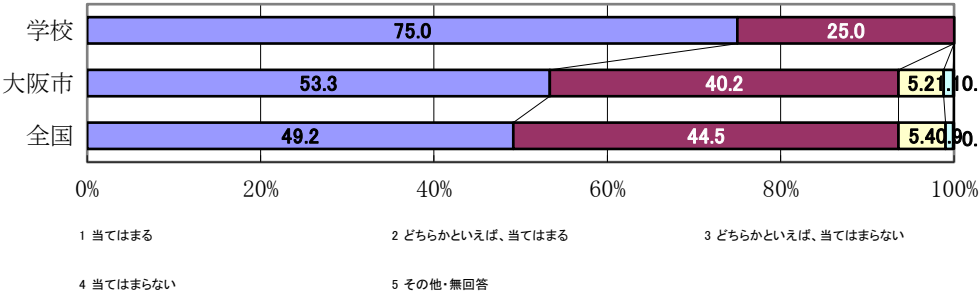
児童質問より

| 質問番号 |
|------|
| 質問事項 |

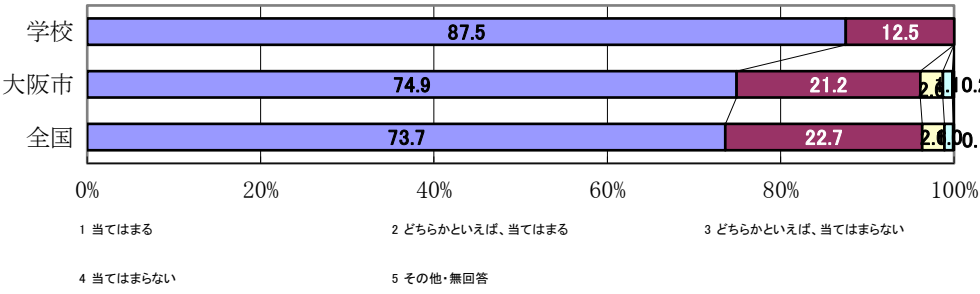
| |
|--------------|
| 1 |
| 朝食を毎日食べていますか |



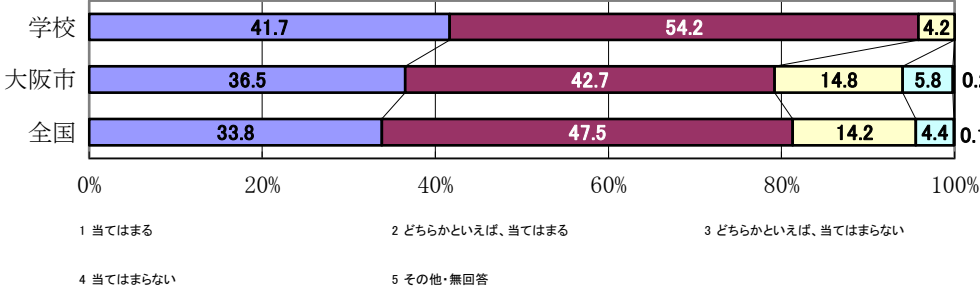
| |
|---------------------------|
| 8 |
| 人が困っているときは、進んで 助けていますか |



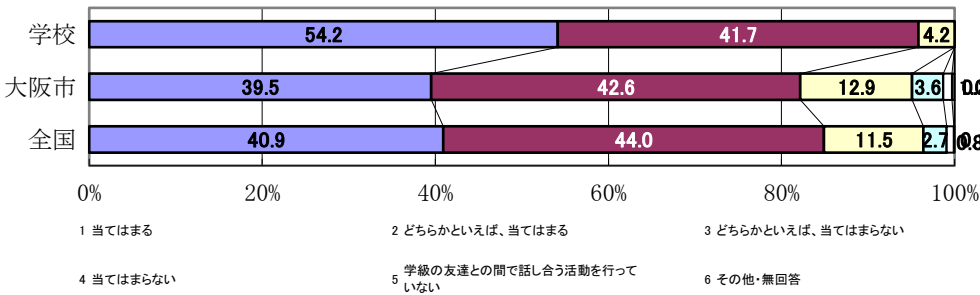
| |
|-------------------------|
| 11 |
| 人の役に立つ人間になりたい と思いますか |



| |
|--------------------------------|
| 27 |
| 地域や社会をよくするために 何かしてみたいと思いますか |



| |
|---|
| 35 |
| 学級の友達との間で話し合う 活動を通じて、自分の考えを 深めたり、新たな考え方に気 付いたりすることができていま すか |



学校質問より

質問番号

質問事項

17

言語活動について、国語科を要としつつ、各教科等の特質に応じて、学校全体として取り組んでいますか

23

教職員が困っているとき、管理職と教職員との間で随時相談できるなど組織的に対応する体制を構築していると思いますか

58

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、授業でどの程度活用しましたか

66

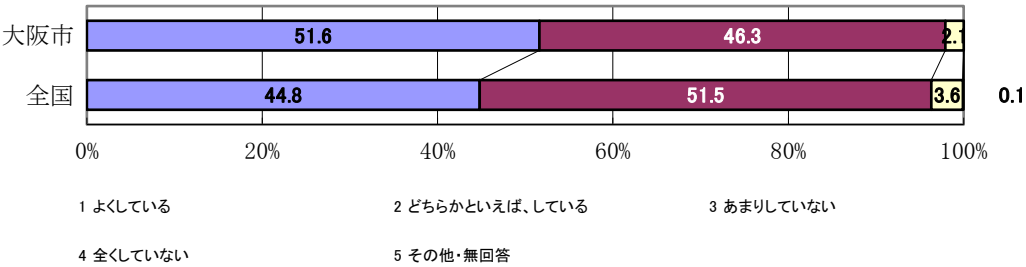
児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどの端末を、どの程度家庭で利用できるようにしていますか

81

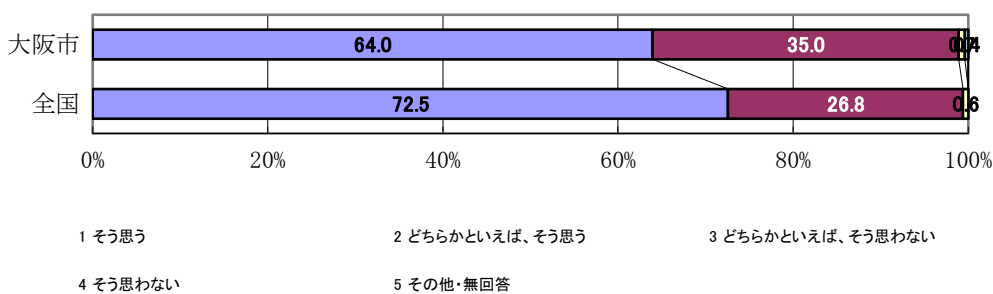
調査対象学年の児童に対して、前年度までに、家庭学習について、児童が自分で学ぶ内容や学び方を決めるなど、工夫して取り組めるような活動を行いましたか

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

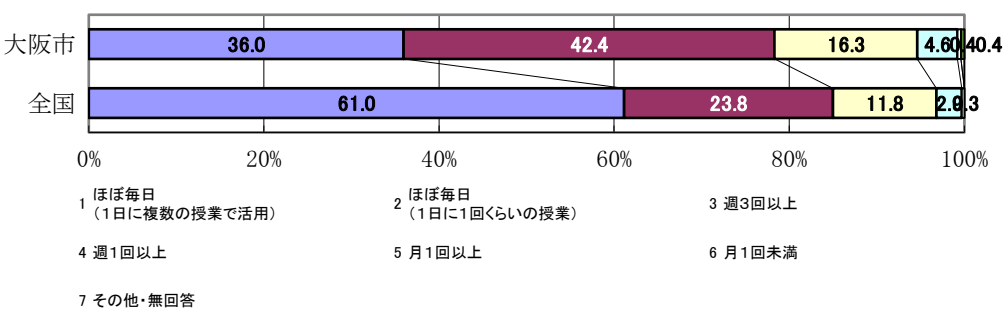
学校「よくしている」を選択



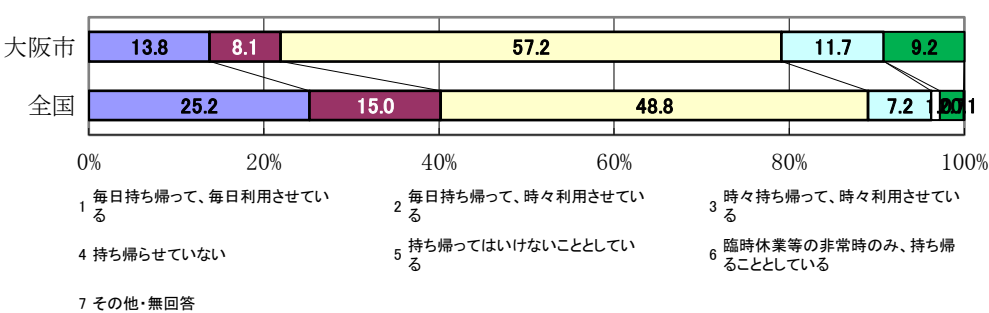
学校「そう思う」を選択



学校「ほぼ毎日(1日に1回くらいの授業)」を選択



学校「持ち帰らせていない」を選択



学校「あまり行わなかった」を選択

